



経営管理委員会 会長
合 田 久



代表理事 理事長
竹 田 一 郎

皆さまには、平素より私ども J A 愛媛県信連（愛媛県信用農業協同組合連合会）をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当会は、昭和23年の設立以来、県内 J A とともに「農業専門金融機関」として、愛媛農業の発展と農家経営の向上に資するとともに、地域の発展を支援する「地域金融機関」として業務を展開してまいりました。これもひとえに会員はもとより関係機関、地域の皆さまのご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

この度、当会の事業・経営につきまして、皆さまからより一層のご理解をいただくために、最近の業績や業務内容を取りまとめた「DISCLOSURE2026」を作成いたしました。ご一読いただき、当会へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。

さて、我々 J A バンクを取り巻く環境は、組合員の高齢化・人口減少などによる経営基盤の縮小や資材価格高騰による農業経営への多大な影響、日銀による政策金利の引き上げを契機とした他金融機関等との預貯金獲得競争の激化など、極めて厳しい状況にあります。

加えて、急速なデジタル化により、他金融機関等に劣らない利便性が求められるなど、環境は著しく変化しております。

更に、経営の健全性・堅確性を確固たるものとするため、マネロン・テロ資金供与対策や早期警戒制度を踏まえた経営基盤の確立・強化を着実に実践していく必要があります。

こうしたなか、令和8年度は、中期経営計画の中間年度として、引き続き基本戦略に掲げる、「1.安定的収益還元機能の強化」「2.J A バンクえひめ本部機能の強化」「3.組織インフラの整備・強化」にかかる主要施策を着実に実践し、中期経営目標に掲げる『J A バンクえひめとして持続可能な農業と豊かなくらしの実現に向けた、地域の皆さまとのつながり強化と経営戦略の高度化を目指します。』の実現に向け、役職員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、J A とともに総力を結集し、地域の皆さまにより一層必要とされる J A バンクえひめを目指し、役職員一丸となって邁進する所存でございますので、引き続きご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

令和8年7月